

富津市人口ビジョン 2040 案及び富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略案に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

平成 28 年 1 月 29 日

施 策 等 の 名 称	富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略案			
実 施 期 間	平成 28 年 1 月 4 日～平成 28 年 1 月 18 日			
意 見 の 件 数	77 件 (19 人)			
No.	意見の内容	意見に対する市の考え方	修正の有無	対応する新旧 対照表の ページ
1	<p>第 1 章</p> <p>1. 趣旨について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「趣旨」(もとになる考え)ではなく、主に「策定手法・策定までの経緯」となっている ・「趣旨」とするなら、「こういう根拠で、これを作った」とすべき ・「どういう基準に基づいて策定されたのか」が不明瞭 ・3 名のコメントも含めて、目次の前に「まえがき」として入れた方が良い。 <p>【仮案】 (簡単なコメントに加えて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国の創生法第 10 条にもとづく(『……』とする)&「この計画は……富津市人口ビジョンで示した「目指すべき将来の方向」を実現するために取り組むべき目標及び施策を取りまとめた」 	ご意見のとおり修正します。	有	表紙の裏面、 P1
2	<p>3. 基本方針</p> <p>(1) シティプロモーションによる地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションの説明だけで、「シティプロモーションを推進する」という記述がない ・コンパクトにまとめて、地名の由来と花田氏の話は本編とは別に、コラムとした方が良い。 <p>【仮案】 ①冒頭の 4 行 ②P2 下からの 4 行 ③シティプロモーションを推進していきます</p>	ご意見のとおり修正します。	有	P1

<p>3 「具体的な取組と目標値」の施策の名称について名称が文章になっている。(～する) ⇒体言止めに統一すべき(「施策の方向」の表示スタイル統一も) また、施策の数が多く、似たような表現や施策名そのものが1つの事業を実施するような表現になっていて見づらいため、施策の統合や事業とした方が良い。 例 P11 基本目標2の基本的施策の方向1 施策1 「市内の交通利便性向上のため、近隣自治体、事業者、利用者などで検討する場を設ける。」 ⇒検討する場の設置だけの施策⇒事業レベルでは 施策2 現状を調査し、市民に公共交通の利用を働きかける。 ⇒調査と働きかけだけの施策⇒事業レベルでは 施策3 都心へのアクセス、利便性を向上させるため、近隣自治体とともに高速バス事業者に働きかける。 ⇒働きかけだけの施策⇒事業レベルでは 施策1～3 市内の交通利便性維持、向上を目的とした施策で取り組む事業ではないか。</p>	<p>ご意見のとおり修正します。</p>	<p>有</p>	<p>P6、P7、 P9、P10、 P11、P13、 P15</p>
<p>4 具体的な取組が新規なのか、継続なのか分かりにくいので、それぞれ表記してほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、新たな取組には【新規】と記載します。</p>	<p>有</p>	<p>P5、P7、 P11、P13 P15、P16、 P17、P19、 P20</p>
<p>5 基本目標1の本文では、魅力の「再発見」となっているが、施策の方向1と具体的な取組の施策1では魅力の「再確認」となっている。統一した方が良い。</p>	<p>ご意見のとおり、再発見に統一します。</p>	<p>有</p>	<p>P6</p>
<p>6 基本目標1 基本的な施策の方向③の表題では、「高齢者や障がい者が」となっているが具体的な取組では障害者に関する記載がない。</p>	<p>表題が「高齢者や障がい者」となっていることから、施策1の「高齢者」の後に「等」を追加することにより障がい者も含まれる表現に修正します。</p>	<p>有</p>	<p>P9</p>
<p>7 富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略案 P19にある「目標値」について、意見を述べさせていただきます。 案によると目標値が「確かな学力を身につけた子どもの割合(学校教育指針に基づく保護者の評価) H31に60%となっています。保護者の評価と</p>	<p>「きめ細かな学校教育の推進」を目指していますので「学校の取組」について、学校を通して保護者へ意見を求めていきたいと考え、ご意見のとおり「学校の取組」を評価してもらおう文言に修正します。 また、アンケートは各学校に依頼し、</p>	<p>有</p>	<p>P19</p>

	<p>ありますので、保護者に評価してもらおうものだと思いますが、過去に勤務した学校では、学校の取組について保護者に評価してもらっていました。</p> <p>この目標値の文言では、テスト結果かな？と誤解が生ずると思ったのです。</p> <p>目標値の文言を「学校の取組」についての評価にしていきたいと考えます。</p> <p>市がとらえる「確かな学力」について作成した保護者へのアンケートによる集計結果ならば納得できます。いずれにせよ、アンケートの内容は、市内の小中学校統一での実施を望みます。ご配慮くださるようどうぞよろしくお願いいたします。</p>	小中学校ともに、同じ形式のものを検討していきたいと考えています。		
8	<p>(2) 市民参画によるマネジメントサイクル(PDCA)の実行</p> <p>「早期に実行計画を定める」とあるが、翌年度以降の国の支援の制度が予測できず財源の裏づけがないなかで、事業の実行計画をつくって実現できる計画になるのか。</p>	総合戦略案2(3)に記載のとおり、経営改革の推進により財源を確保し、着実に事業を実行します。	無	P4
9	<p>そもそも、「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」は、他の自治体以上に深刻な、富津市の「人口減少問題」に起因するものなので、先ずもって、富津市民に、『3人以上の子供をもうける家庭が増えなかったので、人口が減り続けてきた』現状を、はっきり、伝える必要があると思います。</p> <p>『3人以上』という所が、「最重要ポイント」です。</p>	将来的に現在の人口を維持できる出生率の水準は2.07とされており、これを下回ると人口減少となります(人口ビジョン2040案3ページ中段)。また、人口問題に関する基本認識を市民と共有し、目指すべき将来の方向を示すため人口減少の現状をふまえ、市民の希望出生率1.83を目指すとしています。	無	人口ビジョン2040案のP3とP11
10	<p>P7「1.自分のくらす地域を好きになる」の「②自慢できる地域力の構築」の「施策6」に、「スポーツの振興」が挙げられていますが、「サッカー」に関していうと、小学生までは環境(チームや大会)は整っていますが、中学生以降は、いまいちです。</p> <p>「中学生以降の活動環境」も、作るべきだと思います。少子化なので、「部活」まかせでは、尻つぼみになります。</p>	<p>現在、市内中学校では、富津・大貫・天羽中学校にサッカー部があり、学校以外にも、市の内外にクラブチームが多数あります。</p> <p>地域の新たな活動には、基本目標1-②の施策4(新旧対照表の修正後)に記載のとおり振興を図ります。</p>	無	P7
11	<p>P11「2.くらしやすく、移住しやすい環境づくり」の「①交通利便性を高める」では、「交通利便性を高める」のであれば、以前から、言われ続けている、「大貫駅までの複線化」を目指すべきだと思います。交通利便性が高まれば、職場が増えます。</p>	ご意見にある大貫駅の昭和40年度の1日平均乗客数は2,958人であるのに対し、平成26年度の1日平均乗客数は1,132人(JR東日本)と減少しており、複線化の実現性が低いものと考えております。	無	P11
12	<p>P13「③移住者受け入れの環境整備」に関して移住者の中でも、「Uターン」者は、貴重な存在だと思います。</p> <p>「Uターン」者を対象とした優遇策は、必要だと思います。</p>	総合戦略基本目標2-③の施策1(新旧対照表の修正後)では、ご意見を参考にして転入促進策を民間とも連携し、取り組んでまいります。	無	P13

	また、「親との同居・隣居・近居」者への優遇も、有用なので、あってもいいかと思えます。			
13	<p>P16「3.子どもの笑顔があふれるまちへ」の「①出会いの場を創出し、結婚の希望をかなえる」に対して結婚のことに言及する前に、「出産適齢期」にふれる必要があると思えます。「生物学的には、18歳」と言われているようですが、10代の出産を奨励するのは、問題が起きそうな気がします。</p> <p>「出産には適齢期(20代)がある」ということを、すべての富津市民に、はっきりと、伝えるべきだと思います。「出産適齢期」は、厳然と存在し、「出産適齢期」を過ぎると、不妊や、ダウン症児出産の可能性が高まります。「知らなかった」では、かわいそうです。特別な理由も無いのに、「結婚は、30歳を過ぎてから考える」という女性がいるようでは、教育不足です。ちなみに、この世で生きている人は、一人の例外もなく、すべて、男性と女性という父母から生まれています。そこには、私たちの『存在の根拠』があります。私たちは、「男性と女性が一緒になって、子供を生む」ということが、遠いご先祖様の頃から、ただの一度も途切れることなく続いてきたが故の存在です。結婚の根拠が、そこもあるということです。また、「同性婚」に関してですが、「同性婚の容認」は、「結婚は何でもありなんですよ」と言うことと同じで、結婚の価値を低下させます。「何でもありの結婚なんて、する意味があるのか？」ということです。「非婚化」につながりかねないものです。「同性婚の容認」の次に来るものは、「一夫多妻制の容認」や「近親婚の容認」です。「愛さえあれば、何でもあり」の「混沌(カオス)の世界」の到来です。</p>	<p>ご指摘のとおり、女性の出産年齢が高くなると若いうちの出産に比べてリスクが高くなると言われております。しかしながら、「出産適齢期」はそれぞれの環境によって異なることから、市が一元的に示すことは適当ではないため「出産適齢期」についての掲載はいたしません。</p> <p>なお、中学校の学習指導要領には保健分野で「生殖に関わる機能の成熟」（妊娠等のメカニズム的なこと）という内容が示されており、保健体育の授業で指導をしています。</p>	無	P 16
14	<p>P17「②出産、子育てしやすい環境の整備」に対して『3人以上の子供』をもうける家庭が増えないと、人口は減り続けます。</p> <p>『3人以上の子供』を持つ家庭へのインセンティブは、「必須」で、最近、国レベルでも言われ出しました。こちらも、以前から、何度も言われてきましたが、「第3子以降は、中学卒業まで、給食費を無料にする」べきだと思います。</p> <p>また、「大人と子供とのふれあいの場」、「子供の遊び場」も必要なので、「大貫以南にも、ある程度の広さをもった広場」を確保する必要があると思えます。</p>	<p>給食費は、給食に使用する材料を購入するための費用であり、保護者に公平に負担していただくことが必要です。</p> <p>「大人と子供とのふれあいの場」については、基本目標3-②の施策3に記載のとおり、どのような場が子どもや子育て世帯が集まりたいと思える場になるかを、市民と一緒に考え、つくることを記載しています。</p>	無	P 17

15	<p>「富津市人口ビジョン 2040 案」11Pの目指すべき将来の方向の中での文言について</p> <p>① 希望をかなえます。 ② 促進します。 ③ つくります。抑制します。を、抽象的な表現ではなく、今まで皆さんから寄せられた意見等を集約した中で、「このような手法、このような行動で・・・」解消・解決します。 等の具体的な文言を挿入してはどうでしょうか。</p> <p>「総合戦略 案」に取り入れられている部分もありますが、市の再生の意味合いもあり、今まで行政で取り組んだ実績をも加味して、『決意』をカウンターの内側ではなく、外側から冷静に判断した意気込みを・・・と感じています。 ご多用の中、お手数をかけますが、ご配慮戴けたら幸いです。</p>	<p>人口ビジョン 2040 案及び総合戦略案の趣旨に記載のとおり、人口ビジョンでは 2040 年の人口の将来展望を示し、実現に向けた施策は、5 年間の総合戦略で示しています。</p>	無	P1 及び人口ビジョン 2040 案 P11
16	<p>富津市を元気にするために</p> <p>1、楽しい地域づくりをする 2、市内の各施設を楽しめるようにする 3、例えば、富津岬、内裏塚古墳群、飯野陣屋、高宕山自然動物園、市民の森、野鳥の森、各地の海岸、各種イベント、お祭り、鋸山、富津公園、等々 4、各地区で楽しみを創生する、例えば天羽地区（湊、天神山、関尻、竹岡金谷など）小学校単位で楽しさを見つける（あったかふつつ）を見つける造る 5、各地区ごとにそのためのNPO法人を立ち上げて「楽しさ、あったかふつつ」をコンセプトに競争して盛り上げる 6、観光協会、商工会等とは別のボランティア団体により事業を行う 7、行政は組織団体の組成や事業企画立案の為の助言、チェック、予算調達の協力を行う 8、「壺燈照隅 萬燈照国」小さな地区で出来ることをして各地区を結べば大きな力になるでしょう あくまでも各地区で楽しい地域づくりを楽しむ・・・楽しい地域づくりが重要なコンセプトです。楽しい地域には人が集まる。 住宅地を整備してもそれは住む為のもので住んで楽しい地域を造らなければそこで育った人が巣立ってしまえば過疎化するのは・・・ 最後に、国の予算が付くから企画を出せ、短時間でそんなこと無理でしょ・・・ 失礼しました。</p>	<p>ご意見の 1、3～8 については基本目標 1-②に、ご意見の 2 については、基本目標 4-③に掲げており、ご意見を参考に取り組みます。</p>	無	P7、P23

17	<p>富津市が都会にならなくても、自然の中でも心豊かに子育てを出来るか、考える上で</p> <p>A働く場が近い事（男女とも）</p> <p>B地域の安全：子も親も年寄りも声を掛け合える環境。かといって、人のプライバシーは守らなければいけない。</p> <p>C若い人は広報ふつつを読むのか、ホームページを見るのか、どうなのでしょう。</p> <p>地域の活性が未来の富津の姿の希望だと思います。</p>	<p>A基本目標4-①に掲げており、ご意見を参考に取り組みます。</p> <p>B地域の安全の観点からは、地域での見守りやご近所の絆づくりが大切であり、基本目標1-②に掲げる地域づくりに取り組みます。</p> <p>C「広報ふつつ」は、紙面のほか電子媒体として「市ホームページ」やスマートフォンにも対応した「i 広報紙」にて情報発信しており、行政が発信する情報にもっと関心や興味を持ってもらえるように、見やすい・読みやすい情報を発信します。</p>	無	P 21
18	<p>住環境の整備</p> <p>素案では「都市機能と地域資源がバランスよく配置されたまちづくりを行います」としていますが、「都市計画マスタープランの見直し」ということで、具体的なまちづくりのイメージは提示されていません。</p> <p>一方、富津市民委員会第4分科会提言書において、「北にコンパクトシティ、南に魅力ある田舎をつくります」、「車社会において市域のすべてに均等に商業施設等が点在する必要はなく…」という提言が紹介されています。</p> <p>提案：</p> <p>富津市は広いエリアに居住地域が分散していますが、「北にコンパクトシティ、南に魅力ある田舎をつくります」という考え方には反対です。また、車社会という考え方にも反対です。歩いていける範囲、あるいは自転車で行ける範囲を基本的な地域の単位として考えるべきでしょう。</p>	都市計画マスタープランの見直しにあたって参考にさせていただきます。	無	P 12
19	<p>富津市は市＞地区(町)＞区より構成されますが、地区を基本的な地域の単位として、そこにショッピング、保育園、小中学校、診療所、地域包括センター、集会所などの(必要最低限の)都市機能を持たせるべきです。</p> <p>まちづくりの考え方として、「コンパクトシティ」とともに「小さな拠点」という考え方があります。「コンパクトシティ」は市域あるいは広域市町村において、都市機能を集約させようという発想ですが、富津市の場合、生活圏としての「小さな拠点」づくりが優先されます。</p> <p>「小さな拠点」の中心的な施設が、生鮮食品の販売をする小規模スーパーマーケットです。人口規模の小さな集落で小規模スーパーマーケット</p>	今後の人口減少を見据え、基本目標2-②の施策1では社会状況の変化に応じたまちづくりに取り組むこととしています。また、市民が買い物をできる環境は重要な要素であり、社会状況に応じてICTの利活用や支援サービスの担い手づくりを通じ、生活機能の維持を目指します。	無	P 12

	<p>を運営するには、採算の問題があります。ただ、商品開発や品ぞろえなどお客のニーズに沿いながら、全国に小型スーパーマーケットを展開する事例も出てきています。</p> <p>また、イオンの「まいばすけっと」、マルエツの「マルエツプチ」、全日食チェーンの「シティマーケット」など、既存のスーパーマーケットあるいはコンビニも小規模スーパーマーケット事業の展開を始めています。</p>			
20	<p>2. 交通利便性を高める</p> <p>素案では「民間事業者と連携し、交通利便性の向上を目指します。」とし、施策で「近隣自治体、事業者、利用者などで検討する場を設ける」とあります。</p> <p>提案：</p> <p>地域公共交通会議を設置して、公共交通網の整備を検討していただきたいと思います。検討にあたって、以下を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線を幹線系と支線系の組み合わせで考える。幹線系路線は2～3路線に集約し、運行はバス事業者に委託する。便数は少なくとも1時間に2便以上とする。 ・支線系は、自家用有償運送によるコミュニティバスあるいはデマンドバス等を検討する。支線系の運行については、NPO や事業者への委託を検討し、利用者負担だけで補えない部分については、市の負担あるいは路線地域の住民の負担も考える。 ・支線系は、利便性と経済性の観点から、スクールバスや病院や商店などの民間団体の送迎バスなどとの混乗を検討する。 ・住民の要望を踏まえてダイヤや経路を、既存バス路線の統廃合を含めて全面的に検討する。幹線系については、127号線沿いに1路線、JR線沿いに君津駅まで1路線、を提案します。 ・児童数の減少によって、学校の統廃合を考えなければならない。同時に学童、課外活動、塾、稽古ごとなど子育て環境を整備する必要がある。学校およびこれらの施設を利用する児童を送迎するのにスクールバスを巡回させる。塾やスポーツクラブと契約を結び、運営権を与える、あるいは校舎や体育館を使用させることで、彼らにスクールバスを運行させる(コンセッション方式)。 	基本目標2-①の施策1に関する交通利便性の維持、向上に係る検討にあたり、ご意見を参考にさせていただきます。	無	P11
21	<p>3. 移住者受け入れの環境整備</p> <p>素案では施策として「安価な地価を売りに…」とありますが、プアーな発想です。むしろ、自然</p>	ご意見にある豊かな自然や都心からのアクセスの良さはもちろんですが、人口ビジョン2040案9ページ市外居住者アン	無	P13、人口ビジョン2040案のP9

<p>が豊か、文化的、おしゃれで魅力的なまちづくりを考えるべきです。行政が自ら安さを売りにするような施策には反対です。</p> <p>また、素案の中で「利便性の高い暮らしや豊かな自然の中での暮らしを発信」とありますが、移住者にとって富津市の利便性は良いとはいえません。</p> <p>例えば、マリーンヒルには多くの移住者が住んでいます。病院がない、交通の便が悪い、ショッピングがない、…年をとったらここに住んでいけるのだろうかと不安に思っている人達がたくさんいます。</p> <p>都会に住む人は、車を運転しない人が沢山いるのです。都会では、公共交通網が発達し、駐車場がないため、都内の移動に車を使わないのです。移住者の受け入れにあたって、車社会を前提とする社会には問題があります。</p> <p>素案の中で「半農半XのPR」とありますが、仕事を続けながら農業で自給するという意味でしょうか?都会から移住する人で、趣味で園芸を楽しみたいという人はいますが、「半農半X」に魅力を感じる人はいないと思います。</p>	<p>ケートでは、移住先として考えることができる要因として2番目に多い52.3%の人が「居住するためのコストのやすさ」と回答していることから、地価の安さを売りにしています。</p>		
<p>22 4. 官民連携</p> <p>財政健全化計画(骨太の方針2015)では、歳出改革として「公共サービスの産業化」、「インセンティブ改革」、「公共サービスのイノベーション」をあげています。</p> <p>素案全般にわたりますが、財政健全化計画で謳っている歳出改革の視点が欠けているように思います。</p> <p>この中で、「公共サービスの産業化」は官民連携(PPP/PFI)で質の高い公共サービスの提供を目指しています。富津市の財政にゆとりがない中で、官民が連携して質の高い公共サービスを提供していくことが求められています。</p>	<p>「(3) 経営改革の推進」に記載の通り、市の経営改革を進め、経営改革プランによる持続可能な行政運営のため、歳出削減に努めてまいります。</p>	無	P4
<p>23</p> <p>以前、経営改革プランの意見にも少し、触れた内容を送っているので重複する部分かと思いますが、再度投稿します。</p> <p>基本方針や目標は、標準的な分析や言葉の集合体のまとめ方であって、何かを打開するようなプランが伝わってきておりません。</p> <p>どこで、誰が何を展開することによってこのような効果が見られるとか期待できるといった切り口のものが見当たらなかったと思います。</p> <p>人口流失を防ぐ意味でも、定着させる意味でも下記の内容を提案します。</p> <p>例えば、若者の定住(継続的に富津に住み着い</p>	<p>ご意見にある魅力ある教育施設は若年</p>	無	P13、 P20

<p>てくれるように)、教育の面から何か策を考えられないでしょうか？</p> <p>私個人としては、大学誘致などは効果的と思いますが、少子化の今日、建物、運営などの予算を考えるとなかなか進まないことだとはおもいます。</p> <p>しかし、何かに特化した専門学校は道があるかと思えます。</p> <p>富津らしさを全国のアピールできるような専門学習施設は考えられると思います。海洋加工食品の専門学習施設、発酵食品専門学習施設、スポーツトレーナー養成学校(駅伝などで大学が練習する環境がある街という利点)美容関係専門学校、デザイン関係学校、代替医療(漢方、アロマセラピー)を中心にした総合専門学校などの企業に働きかけ、多く受け入れていく。首都圏で専門校に特化した街づくり構想。昔から東京都の健康学園が多くあった、そのような土壌がある地域です。</p> <p>空き家、例えば機能しなくなった会社の保養所、統合した学校等や大きめの別荘、使わなくなった旅館などを再利用して専門学校にできるのではないのでしょうか？そして、寮にもできるのではないのでしょうか？</p> <p>交通不便をチャンスととらえ、資格を取るのに数カ月から1年、2年かかりますので、寮を提供できる環境にあるということで教育企業への働きかけができるのではないのでしょうか？</p> <p>人を育てる事業がやがて産業を支え、人口を増やすことと思えます。</p>	<p>層の定住につながるものと考えます。ニーズや担い手の有無を把握してまいりたいと思います。</p> <p>また、社会体育施設の適正な管理運営を図ることにより、気軽にスポーツが出来る環境を維持していくことで、そのニーズを持つ層の定住につながると考えています。</p> <p>空き家の利活用について、移住促進に関しては基本目標2-③の施策1(新旧対照表の修正後)と基本目標2-④の施策3(新旧対照表の修正後)で、統合した学校(廃校)の利活用については、基本目標4-①の施策2にて記載しており、その利活用にあたってご意見を参考とさせていただきます。</p>		
<p>24 高齢化地域の問題解決に民間の活力をどのように利用できるのか？プラン化されたことはありましたでしょうか？</p> <p>他市で民間レベルで、がんばっている団体から「取り組み」などを多いに勉強して団体をサポートするべきと考えます。</p> <p>例えば、石川県金沢の「シェア金沢」や茨城県龍ケ崎の「シニア村」の民間や個人の取り組みなど。</p> <p>職員の皆様には机上でのプラン作りから、外に出て市内の状況把握や他市での取り組みの勉強をして大いに参考にしながら、富津市の消滅都市脱却をある意味の危機感をもってあたっていたきたいと考えます。</p>	<p>民間団体のサポートについては、基本目標1-②に記載のとおり、ご意見を参考に、様々な活動に取り組む地域活動団体を支援します。</p>	無	P7
<p>25 ●JR 内房線の青堀一館山間を機関車観光路線とする案。</p> <p>朝夕の通勤・通学時間帯を除く日中の時間帯に</p>	<p>ご意見は観光及び交通利便性の向上施策の参考とさせていただきます。</p> <p>ご意見にある新駅の設置については、</p>	無	P11、P23

<p>機関車やディーゼル機関車を走らせる。</p> <p>富津市役所前に新しい駅を作り、現路線をループさせ大貫駅手前に接続し、そのループの内部に道の駅のような形態の鉄道博物館や、地元の海産物や農産物の直売所を併設し、国内外を問わず観光客を誘致する。その新駅から市役所庁舎への導線確保し利便性を高める。</p> <p>金谷方面からの日中の交通手段は、国道127号線と市役所に通ずる県道を利用してバスを往復させる。自家用自動車に頼ることなく市役所に行くことにもなる。</p> <p>富津・鋸南・南房総・館山市、3市1町の共同事業であり、富津駅はループ、館山駅付近ではターンテーブル形式とすることで往復運転が可能となり、そのものが人気のスポットとなるであろう。</p> <p>道中の特産物を生かしたお弁当はじめ、新たな観光資源となることでしょう。</p>	<p>鉄道事業者の判断ではありますが、青堀駅大貫駅間が所要時間4分と短いこと、大貫駅の1日平均乗降客数が年々減少していることから、困難であると考えます。</p>		
<p>26 ●浅間山メガソーラーに伴う更なる利用に関する提案。</p> <p>新たな無公害エネルギーとして注目されている水素生産工場の誘致。</p> <p>既にトヨタによる自動車生産も始まり、ソーラー発電による電気を水素の生産に生かすことで、完全な循環型エネルギーの構築ができる。館山道を利用すれば水素の運搬にも利便性が高い。</p> <p>野菜生産工場の誘致。</p> <p>東京築地市場まで1時間以内で行くことが出来る館山道に隣接している事と、温暖で大きな災害も少なく水源もあり、立地として優れているのではないのでしょうか。</p>	<p>企業誘致については、基本目標4-①に記載のとおり、誘致方法について改善することとしています。改善方策の参考とさせていただきます。</p>	無	P20
<p>27 ●現浦安市の鉄鋼団地の移転誘致について。</p> <p>現在、浦安地区にある鉄鋼団地の移転について。</p> <p>拡張計画を持っている東京ディズニーリゾートですが、近接する鉄鋼団地がネックになっているのではないのでしょうか。そもそも鉄鋼団地はTDR開園前の14年前に浦安市が誘致した経緯もあり、浦安市から移転要請できない状況にあります。ましてやTDR周辺の道路を鉄骨を積んだ大型トラックが走行する状況もアジア一番のリゾートを目指すTDRにとって決して好ましいものではありません。そこで、移転誘致先に富津市新富地区は候補として如何でしょうか。館山道へのアクセスの良さも好条件ではないのでしょうか。ただし、君津市や木更津市の方が条件的に優位かもし</p>	<p>企業誘致については、基本目標4-①に記載のとおり、誘致方法について改善することとしています。改善方策の参考とさせていただきます。</p>	無	P20

	れませんが、そのあたりは政治力で。			
28	<p>●鳥獣被害の猪や鹿の再利用について。</p> <p>野生の害獣を生きのまま捕獲し、一時的に飼育して衛生管理の下に食肉として利用活用する取り組みはいかがでしょうか。全国に先駆けて大規模なモデルケースを目指す。ジビエ料理レストランを始め、近隣の農産物等の直売所と共に観光施設にもなりえるのではないのでしょうか。休耕地の活用にも有効な手段となります。</p>	<p>農作物の被害対策のため捕獲した野生鳥獣は捕獲後速やかに処分する必要があり、飼育することは認められておりません。</p> <p>しかしながら、捕獲したイノシシやシカを資源として活用することに関しては基本目標4-②の施策3に記載のとおり、ご意見を参考に検討します。</p>	無	P 21
29	<p>パブリックコメント「富津市総合戦略(案)」への意見</p> <p>はじめに、この度の戦略案策定作業にかかわった市民、行政の皆さんには本当にお疲れさまでした。一市民として感謝いたします。</p> <p>一方、今回のパブリックコメントに関する試みは評価しますが、現在まで進めてきた“まち・ひと・しごと創生総合戦略”、“人口ビジョン 2040”に関して事前にもっと市民に情報を積極的に伝える方策が行政側として必要だったと思います。</p> <p>富津市のホームページを見にいてようやくその会議の内容がおぼろげに見えてくるだけでは市民に意見を求めるといっても絵に描いた餅といった感じを持ちます。現在の富津市の状況に余程関心を持っている市民、あるいは私のように一部の暇な市民しかその内容を把握できていないのではないのでしょうか。</p> <p>これからの富津市にとってこれだけ大事な案件に対して本当に市民の理解と意見を求めるならば事前にもっと市民へのPRをすべきでしょう。そして戦略策定の納期もあるかとは思いますがパブリックコメントの期間をもう少し長く設定すべきだったと思います。</p> <p>行政側としてパブリックコメントそのものには初めからあまり期待していないのであれば別ですが、。</p>	<p>今後も速やかな情報提供に努めます。</p>	無	

30	<p>1. 各検討項目の位置づけがよく判らない(経営改 会議、総合戦略、人口ビジョン)</p> <p>市の財政逼迫問題を受け一昨年来、“富津市経営 改革会議”が有識者を招き進められています、 この度の“まち・ひと・しごと創生総合戦略”、“ 人口ビジョン 2040”を含めた全体のフレームワー クがよく理解できません。本来であれば三者は密 接にリンクすべきものでしょうがその関係を判 り易く“絵”に書いて市民に理解してもらう必要 があるかと思ひます。</p> <p>また、個人的には“人口ビジョン”という言葉にも 少し違和感を覚えます。</p> <p>この言葉自体は国からの指示なのかもしれませ んが本来であれば富津市のありたい将来像が具 体的にイメージできその実現に向けた方向・計画 が策定され、実行されてくれば人口はその結果と してついてくるものではないかと思ひます。“ま ち・ひと・しごと創生総合戦略”の中でありたい 富津の将来像(富津市ビジョン)の構成要素とし て将来人口が表現されている方が理解しやすい 気がします。</p> <p>その観点から「人口ビジョンを実現するためのま ち・ひと・しごと創生総合戦略」という人口ビジ ョンを上位に置いた考え方は少し理解しにくい と感じます。(国主導の元、出生率目標値まで決 めて進めるとなると、まるで戦時中の“産めよ増 やせよ”や中国の人口計画のようなネガティブな 感じを受けます)</p> <p>更に、並行して進んでいる“富津市経営改革会議” と“まち・ひと・しごと創生総合戦略”とはできる だけ早い段階で整合すべきでしょう。</p> <p>富津市経営改革会議は総合戦略実行の為の財源 確保だけを目的とした財政改善検討会議ではな かったはずです。富津市の将来を見据え如何に財 源を増やすのか、その財源を効果的に活用する体 制・仕組みを明確にした計画を如何に策定し実行 するのかが本来富津市経営改革会議に求めたこ とではなかったかと思ひます。ビジョンのない経 営改革などありえませぬ。</p> <p>そしてこの将来ビジョンは並行して進んでい る“まち・ひと・しごと創生総合戦略”と大きく重 なってくるはずです。</p> <p>本来すでに進められている事業仕分けなどの 具体施策もこの富津市の将来ビジョン実現に向 けて必要か否かが判断の大きな基準になるべき でしょう。</p>	<p>今後も速やかな情報提供に努めます。</p>	<p>無</p>	<p>富津市の人口問題に関する基本認識を 共有し、目指すべき将来の方向を示すも のが「富津市人口ビジョン 2040」です。 そして、その将来の方向を実現するため の施策をまとめたものが「富津市まち・ ひと・しごと創生総合戦略」です。</p>
31	<p>2. “富津市人口ビジョン 2040”に関して</p>		<p>無</p>	<p>人口ビジョ</p>

<p>今回の提案では“富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略”の上位に位置づけられているのでまずはじめに人口ビジョンへの質問と若干の私の意見を書かせていただきます。</p> <p>〈質問・疑問点〉</p> <p>1)2040年人口目標、希望生率1.83の実現性、根拠に関して (P8、P11)</p> <p>2040年の富津市人口予測値(2010年比▲36%)を“希望出生率1.83”等の実現で34000人強(▲29%)までにするとあるがその実現性はまずありえないのではないですか</p> <p>先に日本創成会議が2040年までに消滅する可能性のある自治体(全国で約900自治体)を発表した際、その前提となる出産適齢期女性(20~39歳)の人口変化を予測しています。</p> <p>その中で富津市においては2040年には現在の約1/3程度までに減少してしまうという驚異的な数字だったと記憶しています。このことは30年後の富津市は人口トータルは現在の2/3弱になるがそれ以上に若者は現在の1/3にまで落ち込むという超高齢化自治体ということでしょう。今回ビジョンで掲げた人口目標はこれらをふまえたうえでの数字ですか?</p> <p>今回“希望出生率”という目新しい指標が国から出てきましたが、今の日本の少子化の背景を少し理解すればこの“希望”という表現は国としてとても無責任な表現だと感じます。</p> <p>経済的生活の不安定な非正規労働者が労働者全体の1/3以上を占め結婚できない若者が増えている現在、これからの社会保障、あるいは老後の年金等を考えると自分達の将来生活に不安を持ち、行政に対して不信を持つ若者は非常に多いと思います。</p> <p>今の若者には結婚したくとも結婚できない、結婚できても晩婚化で子供を作りたくとも多く作れないという状況があると思います。</p> <p>このような状況にある中で国はさらに非正規雇用を助長する法律に変えてきたりしています。</p> <p>このような中で一方的に希望出生率を1.8などと政府が発言すること自体、今の若者には受け入れてもらえないのではないのでしょうか。(私のような政治的に特別の政党に与していない者でも今の国の進め方には非常に疑問を感じます)</p> <p>今回の富津の人口ビジョンではこのあたりをどのようにとらえているのでしょうか?</p> <p>また、人口ビジョンの中には少なくとも2040年時点で狙う世代別人口目標があった方がいい</p>	<p>実現に向け、戦略を確実に実行してまいります。</p> <p>将来展望において示す3万4千人については、国立社会保障・人口問題研究所が示した、人口推計に基づき、子どもを産む世代の人口減少を踏まえたうえで、市民の希望出生率1.83まで、段階的に出生率が上昇した場合の人口です。</p> <p>人口ビジョン2040における希望出生率は、市民へのアンケートによって、理想とする子どもの数や結婚への希望等から算出された、子育てに関する希望が叶った場合の出生率です。</p>	<p>ン2040案の P3</p>
---	--	-----------------------

	<p>のではないのでしょうか。増やすべき世代層によって打つべき施策は当然変わってきます。</p>			
32	<p>2) 近隣 3 市への転出超過に関する原因と戦略への展開 (P. 5)</p> <p>富津市の人口減少の身近な問題として近隣 3 市への転出超過がありますが、その問題に対する分析と具体的な深掘りはできているのでしょうか？また総合戦略にはその根本解決となる施策は表現されていますか？</p> <p>近隣 3 市と富津市の間には交通の利便性だけでなく市民負担、市民への行政サービス面でかなり大きな差が出ています。例えば健康保険料は 40 歳 4 人家族(年収 550 万)で 3 市と比較して年間 12 万円も多くかかるといわれています。その他水道料金や社会福祉、図書館等々、市民にとって近隣自治体に比較し魅力のない諸条件(富津市の弱み)に対する戦略をどのように進めていくのかあまり具体的に表現されていないようです。これらの殆どは行政側の打つべき施策ですが限られた財源の中でどの部分に重点化するのか非常に大きな課題かと思えます。これらの弱みをカバーするだけの魅力を戦略に持たさない限り転出超過というこの身近な問題の解決も困難と思えます。</p>	<p>今後も人口動態の分析を行い、市民に情報提供します。</p> <p>被保険者世帯の詳細な構成等が明らかではありませんが、概ねこの要件で所得額 300 万円、固定資産税 5 万円ありの場合に、富津市では 52 万 8 千円になります。</p> <p>4 市で比較すると、最低の袖ヶ浦市とは 11 万 6 千円、君津市とは 8 万 4 千円、木更津市とは 8 万 7 千円高い状況です。平均すると 12 万円にはなりません記載事項に概ね誤りは無いと思われま。</p> <p>平成 30 年度からは、県が市町村とともに国保の運営を担う広域化が始まります。国の情報を的確に把握し、国や県の補助金の確保を図るとともに、保健事業の積極的な展開により、医療費の適正化・抑制に鋭意努力し、子どもから高齢者まで、安心して医療を受けられる事業運営に努めます。</p>	無	人口ビジョン 2040 案の P5
33	<p>3) 合計特殊出生率、未婚率に関する分析と戦略への展開 (P. 3)</p> <p>近隣各自治体と比較し合計特殊出生率が低く未婚率の高さがその原因の一つとの分析結果は正しいと思いますが、そもそもどうして富津市の未婚率が高いのかデータからはよく理解できません。</p> <p>例えば、一次産業を含めた自営業者の後継者に未婚者が多いのか、あるいは前述したような非正規労働者等、経済的に余裕のない若者が富津市には多いのか、単に出会いの場を提供するだけでは解決できないのではないのでしょうか。</p> <p>これらに関してももう少し掘り下げた分析が戦略展開には必要と思えます。</p> <p>*富津市人口ビジョンの中にはいろいろとデータは入っていますが戦略に展開するためにはこれらのデータから何が言えるのか、もう少し掘り下げて調査・分析することが必要でしょう。</p>	<p>今後も人口動態の分析を行い、市民に情報提供します。</p>	無	人口ビジョン 2040 案の P3

34	<p>3.“富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略”に関して</p> <p>前述したようにそもそも人口問題は労働環境(法律面での改善含め)、社会保障、年金等、国レベルで対策を打たなければその根本解決につながらない領域が多く、地方自治体として打てる施策も限られてくるのではないかと思います。</p> <p>その一方でこの度はすべての自治体で同様の戦略を検討しており各自自治体としての特徴を如何に戦略に盛り込むことができるかが大きなポイントかと思えます。</p> <p>総合戦略の重点に“年少人口減少抑制”とありますが当然他の多くの自治体も方向は同じかと思えます。</p> <p>その観点から戦略を見ると、富津市として年少人口減少抑制に向けた施策があまり強く感じられない印象を受けます。難しい問題かと思えますが他の自治体と比較して富津市戦略の特徴をもっと強く表現できるといいと思えます。年少人口減少抑制に重点化した戦略にしては全体が総花的な内容になっているように感じます</p>	<p>総合戦略全体を通して、年少人口減少を抑制し、市民が幸せを感じられるまちの実現に取り組んでいきます。</p>	無	
35	<p>〈質問・疑問点〉</p> <p>1)年少人口の対象(総合戦略P2・位置づけ)</p> <p>戦略の重点に置いた年少人口とは具体的にどの世代を言うのかよく判らない。</p> <p>人口ビジョンにある転出数の多い若年世代以外にどの世代までを指しているのか?</p> <p>若年世代は一般的に進学等を機に地元を離れそのまま就職という形をとるパターンが多いと思う。仮に千葉県内、あるいは東京、横浜あたりに就職するとした場合、彼等の通勤の利便性を如何に上げるかが大きなポイントとなってくる。</p> <p>さらに若年女性の転出数が特に多いのはこれ以外にも様々な要因があると思われ、戦略展開には更なる分析が必要でしょう。</p> <p>一方、子育て世代(これからの出産予定世代も含め)を狙いとするなら経済面を含めた子育て支援、保育環境等の母親支援、あるいは先にあげた全体的な市民負担の大小(軽減)、行政サービスの良否(向上)等が大きなポイントとなってくるでしょう。</p> <p>これらをもう少し明確にした戦略の重点化も必要ではないですか?</p>	<p>年少人口は人口ビジョン2040案の5ページに記載のとおり0歳から14歳までを言います。</p> <p>総合戦略では、市民が幸せになるまちづくりに関する重点的な施策を記載しており、子育て支援については、基本目標3で取り組みます。</p>	無	P16~19、人口ビジョン2040案のP5

36	<p>2) シティプロモーションの考え方</p> <p>今回の活動に向けて行政だけに任せるのではなく市民参画型のシティプロモーションの考え方はとても良い方向だと思います。</p> <p>この考え方をより強く推し進めるためにも是非、戦略実行計画の具体的策定、実行段階における市民との情報共有化に向けた行政側としての積極的な推進に期待します。</p> <p>以上</p>	<p>総合戦略3基本方針(2)で記載のとおり、PDCAの各段階においても市民と行政が一体となって進めていきます。</p>	無	P4
37	<p>P9 高齢者の生きがいの場づくり</p> <p>ゲートボール等盛んでしたが、今どうなっているでしょう。</p> <p>老人クラブ等活動、婦人会活動等今は見られない高齢者婦人等得意の分野を設けてください。</p> <p>P11 これからも富津に住み続けていたい。40代以上でしょう。若い人達は、学校、就職等市外、結婚、住まいも市外。優秀な人ほど皆都会で永住。</p> <p>P16 気軽に婚活できる場年に何回かする。</p> <p>お世話する課等ありますか。</p> <p>P20 企業誘致は是非</p> <p>女性の内職の様な仕事、こまかい仕事等製造業等の職場を</p> <p>P21 地場産品ブランド化</p> <p>各種団体の代表者、若者等の代表者で月1回位の話し合う場をつくられたらどうでしょう。</p> <p>市内に在住する若き指導で育成されたいかですか。人材育成(元市職員、元教員、元銀行員、元農協職員)役に立つ人</p>	<p>基本目標1-③に記載の生きがいを感じられる場づくりに、ご意見を参考にいたします。</p> <p>結婚に関しては、平成27年度現在市民課で結婚相談を担当しており、結婚相談員による相談を毎週火曜日の午後に開設しております。</p> <p>基本目標4で雇用機会の増や地場産品のブランド化につながるよう、取り組んでまいります。</p>	無	P9、P16、P20
38	<p>特に進めて欲しい事</p> <p>行政の取り組み</p> <p>車が無くても便利に生活出来る様にする。</p>	<p>基本目標2-②の施策1に記載のとおり、社会状況の変化に応じたまちづくりに取り組むこととしております。</p>	無	P12
39	<p>結婚子育て</p> <p>地域が中心になって、「地元の子供会、PTA、自治会、社会福祉協議会、行政など個人と各団体、組織のつなぎ役を担う</p>	<p>基本目標1-②の施策1に記載のとおり、地域の取組に協力することとしています。</p>	無	P7
40	<p>市役所に総合窓口を作る(ワンストップ化)</p>	<p>基本目標3-②の施策1に記載のとおり、子育て窓口の一本化について今後内容を検討して実施します。</p>	無	P17
41	<p>市役所の空スペースにキッズスペースを作る</p>	<p>現在市役所2階の子育て支援課脇の空きスペースにキッズコーナーを設置しており、今後もより良いコーナーにして参ります。</p>	無	

42	学童施設の設置基準などを検討する。	基本目標 3-②の施策に記載のとおり、市の基準を見直し、放課後児童クラブの充実に努めてまいります。	無	P 17
43	コミュニティバスを運行する。	基本目標 2-①の施策 1 記載のとおり、利用者や事業者などで検討の場を設置します。	無	P 11
44	市役所横のレストランをブックカフェにする。	庁舎の目的外利用にあたる等課題があり、また、ブックカフェを設置する目的及び市役所の横である必要性について、利用者にとって最適な場所を検討する必要があります。	無	
45	私感 政府が進めている、高齢者のホーム等を作って、東京から近く、温暖な気候と地元野菜や魚等が豊富な事を PR して特区化めざす。 又、空き家や空施設を利用して、東京の若い IT 企業家を育てる。 道の駅はもう出来過ぎの気がする。	基本目標 2-③の各施策の実施に当たって、ご意見を参考にします。	無	P 13
46	富津市の総合戦略、並びに人口ビジョンについては、予算作成や経営改革等で多忙な折に多くの労力をかけられたことと敬意を表します。 せっかくの機会ですので、一市民としての感想と意見を述べさせていただきます。 1. 全体の感想 内閣府から出された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って 3 月までに富津市版総合戦略を作成する計画と思われませんが、総じてあれもこれもと総花的な記載に終わり、なおかつ「戦略」と「日常活動」の仕分けすらも不明瞭なわかりにくいものとなっています。 戦略とは富津市の将来像を描き、そのありたい姿に向かう重点施策や方向付けを示すものです。5 年後、さらに 10 年後以降に、富津市をこんな町にしたいという姿が示されていません。 総合戦略の骨子を書いているのですが、あまりに抽象的で、どこに力を入れるのか、重要度のランクも見られません。 以上の感想をベースにして、各論的にいくつか私見を述べさせていただきますので、よろしくご高覧下さい。 2. 基本方針について …「総合戦略 P2」 「シティプロモーションによる地域活性化」 「PDCA の実行」「経営改革」を基本方針に挙げて	総合戦略の 1 ページの 3 基本方針 (2) にあるように PDCA の各段階において、ご意見を参考に、幅広い年齢層や、職業の市民の参画が得られるよう努め、市民と	無	P 4

<p>います。これは戦略を実践する際のやり方ですが、それについて特に異論はありません。特にPDCAのようなマネジメント思考は、仕事を遂行する時に是非心がけてほしい方針です。</p> <p>ただし、注意すべき点があります。一度決めた施策にしがみつきすぎて、大胆な方針転換を阻害しないようにする必要があります。全国どこの市町村でも理想的なアイデアや結果はそう多くはありません。いくつもの挫折や失敗があり、それでも全員の知恵と情熱で克服するしか道はありません。失敗を恐れるあまりチマチマと小さい範囲に仕事を押し込めないようにする必要があります。</p> <p>これからは行政と民間が一体になって大きな起業に挑むのと同じなので、ある程度のおおらかさや大胆さがないと大きな果実は得られないと思います。</p> <p>それには、市内の若い層（事業者、被雇用者、学生、農業/漁業・商業従事者、主婦など）をプロジェクト的に構成し自由闊達な環境のもとにアイデアを生み、推進力として活躍できる場を作っていただきたいと思います。</p> <p>当初はあまり「プロ的」なものを求めすぎずに、例えば鋸南町の「ようこそ鋸南プロジェクト」のようなものからスタートしても良いかと思えます。</p>	<p>行政が一体となって進めます。</p>		
<p>47 3. 基本目標について …「総合戦略案 P5」</p> <p>案に記載された基本目標（特に1、2、3）は、目標ではなく手段に近いと思います。仕事があり、どの世代も将来に不安がなく、安全に暮らせることが全ての基本です。</p> <p>従って、基本目標（戦略）としてきちんと取り上げていただきたいのは「仕事作り」、「福祉・子育て政策」、「防災対策」に関するものです。</p> <p>具体的施策はすべて前記の項目に関連付けて展開することができます。「人口ビジョン」のP11に記載された「目指すべき将来の方向」のほうが「戦略」に近いかもしれません。</p> <p>基本目標に必要な目標値については次のように考えます。</p> <p>仕事作りについては各産業の事業総規模（事業売上高）、雇用者数など。</p> <p>福祉・子育て政策においては、利用者待機率、介護予防活動数、「人口ビジョン」に記載されてい</p>	<p>総合戦略では、市民が幸せになるまちづくりを目指しており、各基本目標における数値目標は、満足度としています。</p>	<p>無</p>	<p>P6、 P11、 P16、 P20</p>

	<p>る未婚率、出生率などです。 防災対策に於いては津波関連と土砂崩れ関連の 防災対策数と防災訓練実施率などです。 満足度なるものは目標値としてふさわしくあ りません。参考値として扱うべきです。</p>			
48	<p>4. 富津市の現状認識について …私見</p> <p>この地（竹岡、天羽マリーンヒル地区）に転居 して8年を過ぎました。一部ですが市の現状がわ かるようになってきました。大雑把かもしれませ んが私の認識を以下に述べてみます。</p> <p>これまで富津市は大きな災害や戦災に遭うこ となく海洋資源と良い環境の恩恵を受けて平穩 に過ごしてきました。</p> <p>まだまだ心和む里山と農地が点在し、土地の価 格ははるかに安いです。上総湊駅前には「昭和的 風景」を感じさせるのどかな市街地があります。 でありながら都心に通勤できる便利さもありま す。</p> <p>こうして長い間私たちは危機感を持たずに暮 らしてきました。従って市民は温厚で楽観的で す。以上が富津市の近隣にない強みです。</p> <p>しかし都心への一極集中や少子化とともに市 は人口減少に転じ、それに伴う財政縮小で、かつ てのような交通インフラや商業地域が保てなく なりました。その結果医療環境や子育て環境が悪 化しました。</p> <p>マザー牧場、富津岬、金谷港のような有力な観 光地はあるものの、スポットにとどまり交通面や 見学地のつながりに欠けています。故に、観光客 は富津市を素通りしていきます。</p> <p>農業、漁業共に従来型の経営にとどまり、「食 文化」の発信地になる、近隣大都会への重要な供 給地になる、観光地と提携するなどの、いわゆる 「集合型」あるいは「物語事業」に転化できずに います。その結果従事者の高齢化や後継者不足と 共に徐々に衰退してきました。</p> <p>工業団地の誘致に伴う街づくり（交通、商業、 若者居住）に魅力を欠く為、少なからぬ被雇用者 は近隣市町村に転出してしまいます。</p> <p>このようなことが重なり、一部の「別荘地」を 除いて若年層が転出し、高齢者のみが残されると いう負のスパイラルに陥りつつあるわけです。当 然行政として把握済みの事ばかりです。</p>	<p>ご意見を今後の取組の参考とさせてい ただきます。</p>	無	

<p>転じて富津市の「都心に近くて環境に恵まれ、土地代も安い」という強みに目を向けた場合に、高齢者に交じって最近若い夫婦の転入がこの竹岡に増えてきました。子育て世代です。</p> <p>通称「天羽マリーンヒル（定住約 60 世帯）」の場合、8 年前に子育て世帯は 3 世帯のみでしたが、現在では 6 世帯になりました。ここに今後の戦略を考えるうえで大きなヒントが存在すると思われまます。</p> <p>5. 富津市の将来像について …私見</p> <p>このような現状認識からどのような将来像を描けばよいのでしょうか？あれもこれもと手を付けることができないとした場合、何を将来の我が市に据えたらよいのでしょうか？</p> <p>私はキーワードとして、</p> <p>a. 健康と福祉で輝く富津市 b. 都心に近い故郷を提供する富津市 c. 中小企業支援による働きやすい街富津市</p> <p>をあげてみました。</p> <p>手立てとしてのひとつキーワードは、「ストックの活用」です。</p> <p>廃校や廃館となった建物/施設、別荘地にも増えつつある空き家を活用することが他の行政でも始まっていますが、多額の投資を避ける方法です。隣町ではご承知のように小学校跡を道の駅に作り替えました。もう一つのキーワードはクラスター化（集合化）と物語化（あるいはシリーズ化）です。</p>			
<p>49 a. 健康と福祉で輝く富津市 では、恵まれた環境と都心への近さを武器にできます。横浜や東京の福祉施設を誘致することを視野に入れます。それにより雇用創出を図ります。</p> <p>（埼玉県秩父市や島根県浜田市で取り組んでいます）介護保険は委託した行政が負担するので、富津市の負担はさほど増加しないと思います。</p> <p>それに加えて、介護予防を前面に打ち出し。楽しんでできる体操や高齢者交流場所の設置を考えたらどうでしょうか？これにもストックの活用を図ります。</p> <p>富津市独自の戦略としてもう一つ提案したいのは「共助システム」を企画し、サポートすることです。</p> <p>高齢者の中では元気でゆとりある 60 歳台～70 歳台全般の人口も増えています。買い物難民、通院難民、学童保育難民をサポートするためにこの</p>	<p>ご意見を参考に基本目標 1-③の施策 2 に取り組みます。</p> <p>ご意見の介護に係る福祉施設の誘致については、富津市介護保険事業計画及び千葉県高齢者保健福祉計画と整合を図る必要があります。</p>	<p>無</p>	<p>P9</p>

	<p>年代の有意の人たちをセミボランティアとして活用するのです。</p> <p>現にいま私は、知り合いの共稼ぎ世帯の学童を週に1～2回放課後に学童保育へ車で運んでいます。また、知人が怪我をしてリハビリを受けている間に運転ができなくなったので、通院、入浴、買い物を支援しています。大事なことは、いずれも3～4人が持ち回り交代で支援していることです。</p> <p>負担も少なく、気楽に交代もできます。たまたま知人関係にあるから支援が成り立っているのですが、危険保障や経費負担などを導入し、もう少し仕組みとして定着できそうな気がします。自分のような意思のある人は予想外の多いのではないのでしょうか。</p> <p>なお、この「a」にとって、高速バス停留所の竹岡と上総湊は、市の南部の開発や転入者誘致にとって極めて貴重な財産になります。都心への手軽な通勤手段や文化体験手段として、あるいは高齢者の高度医療施設利用の手段などとして強力なPRポイントになります。</p> <p>この強みは是非残すべきです。高速道路沿いのバスターミナルに集約するのではそのメリットが半減しかねません。</p> <p>どうしても集約するのであれば、ハブターミナルと重要施設を循環する交通網の拡充は必須にならざるを得ません。</p>			
50	<p>b. 都心に近い故郷を提供する富津市では、内陸の豊かな里山や漁港を生かし、農業体験型宿泊施設や魚の食体験型宿泊施設のクラスター（集合体）を考えてみてはどうでしょうか？</p> <p>これに横櫛を通して「ふるさと交流館」による販売イベント、体験イベント、民芸イベント、小さな音楽家イベントを企画することが考えられます。このことにより一層「今」を演出できる農業や漁業に転換できるのではないのでしょうか？</p> <p>これをさらに進めて、有力観光地と連携した物語/体験型観光ツアーを企画できるかも知れません。</p>	<p>ご意見を参考に基本目標4-③の施策1に取り組みます。</p>	無	P23
51	<p>c. 中小企業支援による働きやすい街富津市では、単に財政出動で支援するのではなくインフラ整備支援や通勤支援で優遇できないのでしょうか？青堀や青木地区をより魅力的な市街地に整備できれば、商業施設周辺にもっと人が集まるかもしれません。</p> <p>上記のすべての将来像に対して「災害に強く復</p>	<p>雇用や産業については基本目標4において取り組むこととしており、ご意見にあるように直接的な企業への奨励制度だけでなく、環境整備に取り組み、雇用の創出を目指します。</p>	無	P20～23

	<p>興力にも強い街作り」は必須となります。</p> <p>戦略としてではなくとも、是非将来計画に加えていただきたい項目です。</p>			
52	<p>6. おわりに</p> <p>以上、行政には素人の一市民の意見を述べましたが、施策の立案には素人の発想も重要です。案の創出段階ではあまり制限を設けずに自由闊達な議論を推奨して欲しいと思います。</p> <p>特に、市長をはじめ上に立つ人ほど、口出しを辛抱して、議論されているアイデアを後押しするようなリーダーシップを是非発揮していただきたいと思います。</p> <p>そうすればおのずから大きなヒントや自信が得られるでしょう。</p> <p>専門家の役割は、見落としの検証や裏づけ情報の収集、データベース化だと思います。</p> <p>自由な議論は、私が最も重要と思っていることです。今後の施策立案に関心をもって見守り、必要に応じて意見を発信させていただきます。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>以 上</p>	<p>ご意見を今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	無	
53	<p>パブリックコメント「富津市総合戦略(案)」への意見</p> <p>今般表記(案)を読ませて頂き素直に思ったこと感じたことを記させていただきます。</p> <p>まず原案を作るに当たって担当した方々の努力は並々ならぬもので有ったとお察し申し上げます。ご苦労さまでした。</p> <p>全体として思うことですが「行政の取組」「地域・民間ができること」「市民ができること」と有りますが各々これらを実行するには強力な「リーダーシップ」を持った人が居ないと「絵に描いた餅」で終わる可能性があると思われます。</p> <p>「行政」「民間」の状況は分からない部分がありますが「市民」の部分について書かせていただきます。</p> <p>「市の活性化」は「市民の活性化」ですが地区の現状を見ると「いまのままでいいじゃないか」「なんでそんなことやんなきゃいけないんだよ」です。</p> <p>その為には「区長」が意識を持って取り組まないと絶対に改革は出来ないと思います。今回の「パブリックコメント」にどのくらいの区長が意見を持っているのか? 「富津市まち・ひと・しご</p>	<p>総合戦略では、行政、地域、民間、市民という形で取り組みを示しており、この地域、民間の取り組みについては、区長も中心的な立場の方と考えています。</p> <p>本戦略では基本目標1-②の施策1及び2において、その地域にあった協力や活動団体の育成をします。</p>	無	P7

	と創生総合戦略」の策定にあたっては、是非「市民の代表」として「区長」の役割も何らかの形で組み入れて貰いたいと思います。			
54	<p>個々の案件について</p> <p>11 ページくらしやすく、移住しやすい環境づくり</p> <p>私の地区には上総湊～戸面原ダム線が走っていますが現状まず利用していません。ダイヤのことで「料金」を考えると車で行けるのなら「安上がり」年金生活者で車を使えるのならバスは利用しないと思います。別の形でのバス運行があれば(マイクロバスとかで運営している町も有るようですが)利用するでしょう(安価で便利ならば)</p>	基本目標 2-①で記載のとおり、利用者、事業者などで利便性の維持、向上に努めます。	無	P 11
55	<p>13 ページ移住者受け入れの環境整備</p> <p>施策 5 日本版 CCRC を検討する。</p> <p>これは検討ではなく実施すべき。これを目玉に市をアピールできる。</p> <p>移住して 5 年目。全く後悔はしていませんし、子供たち 2 人(既婚)は「田舎が出来て良かった」と孫たちを連れてよく遊びに来ています。</p> <p>子供たちは富津で育ったのでは有りません。もしここで育ていたら親としては同居しろ!と言えただろうか妻と話し合いましたが「多分「言えない」だろう」。</p> <p>では自分が「高校生・大学生」だったら、富津に残って就職するか?と話したら「多分・・・出て行くだろう」が私たち夫婦の結論。多分同じ意見の市民は多い筈、というか「そうだったから」「現状がある」と認識したほうがいい。</p> <p>そういう現状の中で「移住者を増やそう」というのは相当な努力が必要と思われる。</p>	日本版 CCRC を始め、移住者受け入れ環境整備にご意見を参考にさせていただきます。	無	P 13
56	<p>施策 1</p> <p>安価な地価を売りに…</p> <p>以前住んでいた柏市の時価と比べると 1/3 以下です。</p> <p>今までと同じ広さの土地・家屋を中古で求めると(物件によって違いますが)売却によって売り価格の 2/3 は現金として残る計算になります。老後資金に不安のある都市部の人に移住するメリットとして上げられると思います。(高齢者が増えることになるデメリットもあるかも知れませんが)</p> <p>取り留めの無い意見で申し訳ございません。</p> <p>今後の皆様のご活躍に期待しています。</p>	ご意見を参考とさせていただきます。	無	

57	<p>人口ビジョンについて</p> <p>1 ア若年層の人口減 イ低い合計特殊出生率 ウ高い未婚率</p> <p>君津・木更津・袖ヶ浦・千葉県平均と比較してグラフや表で示しています。</p> <p>できればこの比較を類似団体とも比較して欲しい。(「富津市の家計簿」は類似団体との比較)これらが千葉県平均よりかなり富津市が低いのはなぜか?。市の施策にも問題があるのではないかと感じました。</p> <p>1 人口の将来展望を考えるために調査分析がなされています、</p> <p>ア市民意識調査では「公共交通網の整備」「働く場所の創出」「医療」などが不満と回答されています。また、「子育てしにくい」と感じている回答が多いとされています。</p> <p>ロ転出者アンケートでは、不満だった点として「交通の便」「買い物の利便性」「雇用環境」と回答されています。</p> <p>これらの問題を改善することが富津市の発展につながると考えます。</p>	<p>人口ビジョン 2040 案の 5 ページにあるとおり近隣市との人口移動が顕著であることから、近隣市との比較を掲載しています。</p> <p>ご意見にある市民意識調査で明らかになった課題の解決に向けて、総合戦略で取り組んでまいります。</p>	無	人口ビジョン 2040 案の P3 と P5
58	<p>3. 目指すべき将来方向について</p> <p>①1 と 2 で丁寧な資料作成・アンケート集約を行ったのに目指すべき方向になるといきなり焦点がぼやけてきます。これではせっかくの調査がやくにたちません。私は 2 の②のアイから、将来の方向は「交通の便」「買い物の利便性」「雇用環境」「医療」をよくすること。それに「税や公共料金を他の市町村並みに」することだと思います。富津で働いているのに、住み慣れた富津市を離れて、君津市に転居する理由に、不便なのに税負担が高いという話を聞いたことがあります。</p>	<p>ご意見のとおり、市民意識調査の結果、「公共交通網の整備」、「働く場所の創出」及び「医療」の満足度が低いと認識しています。</p> <p>このため、総合戦略では、市民の満足度が上がるよう取り組んでまいります。</p>	無	
59	<p>②市外の方に、富津に来てもらおうという思いで市外居住者のアンケートを取ったのですが、そこに視点を置き過ぎ、結果として将来の方向がぼやけているように思われます。市外の方にとって、美しい自然も土地が安いのも確かに魅力です。しかし、その魅力で住み始めた方が、あるいはここに住みたいと願った方が、暮らせず引っ越す姿が今の富津市ではないでしょうか。そんなことがないように市民の願いにこたえるまち・ひと・しごと創生総合戦略を考えてください。</p>	<p>自分の住む地域を好きになり、住み続けたいと思えるようなまちづくりに、総合戦略全体を通して取り組んでまいります。</p>	無	
60	<p>富津市総合戦略案について</p> <p>1 これを作成した方には大変なご努力を戴いたとは思いますが、しかしそこと市民とに大きなギャ</p>	<p>市民と行政が一体となって取り組むため、今後一層の情報提供に努めます。</p>	無	

	<p>ブがあります。説明会や公聴会を行いもっとその差を埋める努力をしてください。</p> <p>市民と共に作ったという実感はほとんどの市民は持っていないと思います。</p>			
61	<p>2 富津市総合戦略は国の動きと関係しているのですが、富津は財政破綻しそうな町。とマスコミに騒がれた街です。富津市の借金を増やさない事を前提に考えて欲しい。また「収入を考えずに支出し続けることは、家計では考えられないこと。市民一人ひとりに市のお財布を考えてと」(P4)とのことですが、財布を握っているのは行政だという自覚と責任がなさすぎです。</p> <p>傍線のところを市及び議会は、に訂正してください。あるいは表現を変えてください</p>	<p>ご意見を参考に経営改革に努めます。</p> <p>ここでいう「市のお財布」の表記は、市民の皆さんが予算→執行→決算の各段階において、自分の家計と同じように考えていただきたいとの表れです。</p>	無	P4
62	<p>3 下記の言葉は抽象的で具体的な事がわかりません。</p> <p>①シティプロモーションとネットワーク (P2) (P7)</p> <p>②都市機能と地域資源がバランス良く配置される街づくり。都市計画マスタープランの見なおし (P12)</p> <p>③日本版 CCRC の検討 (P13)</p> <p>④企業が街づくりに参加 (P6)</p>	<p>①-1 シティプロモーション 総合戦略 1 ページの 3 基本方針 (1) 1 段落目に記載のとおりです。</p> <p>①-2 ネットワーク それぞれ個々に活動している地域活動団体等の連携によって、別個に活動する以上に地域の貢献や団体活動の楽しさを生み出すために情報交換等の場を設けることを検討しています。</p> <p>②-1 都市機能と地域資源がバランス良く配置されるまちづくり 都市機能：インフラなど 地域資源：観光名所、地域の産業など</p> <p>②-2 都市計画マスタープランの見直し 都市計画マスタープランは、長期的視点にたった都市の将来像を明確にし、その実現にむけての大きな道筋を明らかにするものであります。人口減少等の社会構造の変化や自然災害リスクの中、持続可能で活力ある地域づくりをすすめるために、都市計画マスタープランの見直すものです。</p> <p>③日本版 CCRC の検討 CCRC は、都心などから高齢者が移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりを目指す取り組みのことをいいます。CCRC の導入には、メリット、デメリットがまだ研究されていないことから検討することとしていま</p>	無	

		す。 ④企業がまちづくりに参加 企業活動は、企業自らの拡大だけでなく、その地域の発展の大きく寄与することから地域・民間ができることに記載しています。		
63	4、交通の利便性を高める(P11) これは市民が最も望んでいることなのでぜひ検討してください。 ①今より不便にしない。〔仮称〕浅間山バスストップの建設により、竹岡、上総湊の高速バス停がなくなろうとしています。このバス停は長くここに存在していて、ここで暮らす人たちの貴重な足です。存続出来るよう、富津市あげて運動してください。ここでは市の施策の結果で、まちの賑わいが失われようとしています。	(仮称) 浅間山バスストップの建設により、便数、行き先とも増加します。 建設前：34 便/1 日⇒建設後：136 便/1 日 利用者、事業者などによる検討の場を設け、利便性向上に取り組みます。	無	P 11
64	②通院・通学・買い物・などの交通網を整備してください。ここは車社会なので、運転免許証を返したいが、返せない方がいます。子どもたちも不自由しています。車がなくても生活できるよう検討してください。	基本目標 2-①で交通利便性の維持、向上に取り組むとともに、②の施策 1 では社会状況の変化に応じたまちづくりに取り組みます。	無	P 11、 P 12
65	5 結婚問題を子育ての項目に入れるのは変です。結婚＝子育てではありません。(P16) 結婚を希望する人の縁結びはとてもいいと思います。都心からお嫁さん・お婿さん募集もいかもしれません。	ご意見のとおり、「結婚＝子育て」とは認識していませんが、他市と比較して未婚率の高い本市では結婚と出産、育児は密接な関係にあることから、基本目標 3 で取り組むこととしています。	無	P 16 ～19
66	6 提案です。 昨年 5 月に海岸の砂浜を干潮の時ウォーキングしました。かなり長い時間歩けました。これを整備するのはどうでしょうか。海外旅行でそれに似た観光地を巡りました。高い人気で外国の人も沢山楽しんでいました。24 時間渡れない所が、魅力的なのです。美しい富士山を見ながら海岸線をあぐる。貝殻拾いをしたり、公園でドングリ拾いや草花を鑑賞したり、歴史に触れたり美術館に入ったりして、より道もまた楽しいものです。 よい観光地になると思うのです。富津には 6 つの JR の駅があります。駅から海岸にでて好きな場所から海岸を歩く、そしてレストラン・ミニ博物館・温泉などもある。駅からハイキングなどの企画(今は鋸山とマザー牧場の山コースしかない)をしてもらえそうです。	ご意見を参考とさせていただきます。	無	
67	とにかく人を増やすことを考えなくてはならない。	基本目標 2-①の施策 1 で利便性維持向上に取り組めます。	無	P 11

	例えば、高速道路バスストップは利便性が低いと思われるため、もう少し考えなければならない。	高速バス事業者に対し、便数及び路線の充実を働きかけるとともに、アクセスについても利用者や事業者と検討の場を設けます。		
68	「富津市まち・ひと・しごと創生戦略案」の11ページにある公共交通網の満足度の目標数値が低すぎないか。 半数が満足するくらいでないといけないのでは。	ご意見いただいた公共交通網の満足度については、現状の割合の2倍を目指すものです。 市民の皆さんにより多くの利用を呼びかけることで、利便性の維持、向上を目指してまいります。公共交通機関の利用者減少が続いている現状を踏まえると、平成31年度の目標値としては適当と考えています。	無	P11
69	防災体制、消防団の確保が重要であり、災害時などでは大きく貢献している。定員を確保するために多様な手法（女性消防団員など）が必要であり、現在の消防団員定数が充足されていない状況で、戦略の目標値にある現状維持では不安である。	消防団員数の確保に努め、消防団と区や自主防災組織の連携を図り、地域防災力の充実、強化に取り組みます。	無	P10
70	1. 学校行事用のバス(確か2台?)を、学校で使わない日は高齢者の買い物ツアーの日とし、主なスーパー、郵便局、銀行等を回るようにする。 その際の運転手、付添いは富津市役所職員が交代(当番制?)で行う。 ガソリン代は廃品回収やベルマーク等を市民や高齢者に集めてもらったり、市役所職員の寄付やバスの広告費等でまかなうようにする。	基本目標2-①の施策1において、地域の実情に応じた、公共交通の利便性の維持向上を検討するうえで参考とさせていただきます。	無	P11
71	2. いつも記載されていないが、 「富津市で大規模な工事、多額な予算の案件が発生 or 計画した時は、計画の段階で、富津市民に事前に知らせなくてはならない。」という条例? 制度? を作る。 詳細は石井聡コーディネーターに聞いてください。バスストップの二の舞を踏まないように。	現在も市民意見を計画段階から広く公募するパブリックコメント手続き制度行っていますが、より市民が意見を提出しやすいよう一層の情報提供に努めてまいります。	無	
72	3. 富津市役所職員人員を1/5減らす。 引っ越し等手続きが多く、市役所に行く機会が多かったのだが、フラフラと暇そうに歩いたり、いつまでも堂々と立ち話をしていたり、勤務時間内にATMに行っていたりしていた職員が目についた。(若い人が多かった。) 富津市の改革も職員からはやる気が感じられないし、市民への対応も評判が悪い。 市役所職員の再教育、再認識も兼ね、徹底したリストラを行う位の事をしないと意識改革もままならないのでは? もしくは、その減らすはずの職員を、各地域の	職員数の見直しについては、経営改革プランにより、新たな行政需要や行政課題に対し、今後も適正な人員の確保を図りながら、組織機構のコンパクト化、事務事業の見直し、業務改革の徹底などにより、更なる職員数の削減に努めます。 また、職員の意識改革、教育を行うと共に、行政サービスの向上に努めます。	無	

	<p>区長さんの代わりに仕事を担当する。</p> <p>いろいろ規定があるのかもしれないが、それでは今までと変わらないので、規定を変えて実行に移す、くらいのスタンスでやってもらいたい。</p> <p>具体的には、回覧の分配、区費等の集金、事故&災害等の対応、区民からの苦情処理、草刈、認知症の人の確認、民生委員の補助など。</p> <p>提出がギリギリになってしまっていて申し訳ありません。</p> <p>よろしくお願い致します。</p>			
73	<p>富津地区についてのコメントが中心になります。</p> <p>(1) 「基本目標2 ぐらしやすく、移住しやすい環境づくり」交通の利便性を高める P11</p> <p>鉄道が不便な当地区には都心へのアクセスとしてアクアライン経由の高速バスはとても便利です。木更津イオンでは無料の駐車場を提供し高速バスを利用しやすく運用している。富津イオンまで延長するよう企業に働きかけて欲しい。</p>	<p>基本目標2-①の施策1において、地域の実情に応じた、公共交通の利便性の維持向上を検討するうえで参考とさせていただきます。</p>	無	P11
74	<p>(2) 「基本目標2 ぐらしやすく、移住しやすい環境づくり」住環境整備 P12</p> <p>公園について</p> <p>行政統計によれば、富津市の一人当たり都市公園面積は48.1㎡で全国26位(813市区中)で、当地区だけでも富津公園、ふれあい公園、みなと公園と広大な敷地の公園がある。みなと公園に至ってはほとんど利用されていない。何の目的で造られたか不明だけど、もう造ってしまったのだから、莫大な維持管理費を掛けているのだから、有効利用しなければ勿体ない。</p> <p>みなと公園の活用の一案として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 北側を釣りができるようにする。 2. 南西側の運河沿いにプレジャーボートの係留・保管施設(有料)を設ける。不法係留も一掃できる。 	<p>基本目標2-②の施策2において、ご意見を参考とさせていただきます。</p>	無	P12
75	<p>(3) 「基本目標4 市の産業、仕事を創る」観光の振興 P20</p> <p>企業誘致、基幹産業の漁業・農業の活性化に加え、これからは観光を産業として発展させる官民一体のスキームを行政が主導して立ち上げてほしい。</p> <p>当地区の観光資源としてはやはり海、潮干狩り、海水浴、地引網、釣り、マリンスポーツなど。富津岬の先端、明治百年記念展望台は人気のスポ</p>	<p>基本目標4-③において、ご意見を参考とさせていただきます。</p>	無	P23

	<p>ットで、一年を通じて観光客が訪れます。しかし未だに護岸工事が終わらず古びた柵が無造作に置かれ景観を悪くしている。早く撤去して欲しい。また、マリンスポーツでは漁業者とのトラブルが多発している、互いにすみ分けできるよう行政は指導をしてほしい。</p>			
76	<p>教育について</p> <p>県立高校は管轄外なのかもしれないが、市内2校ともレベルの低下が著しい。校舎も劣化しており、2校を合併し新たに新設したらどうでしょうか。大学や高校は、地方の活性化になる。</p>	<p>ご意見に記載のとおり、県立高校については、千葉県が所掌しています。</p>	無	
77	<p>人口ビジョンと総合戦略を分けて説明ができるのはとても良いです。</p> <p>1人でも多くの市民が興味をもち、これを目にして意識向上につなげ、色々な意見や提案、コメントが出る事に期待したいです。</p> <p>この人口ビジョンと総合戦略は、市民が見てこれからの人口変動や現実状況を理解して『富津市を創り上げていくという意識』を持ってもらう事。</p> <p>きれいな言葉、理想的な施策を並べるだけでなく、全国地方創生の中でも、特異した富津であること、富津ならではの元気の出る、わくわくする構想をインパクトある表現、施策の工夫であるなど市民1人ひとりにアピールするものでもあってほしいです。</p> <p>各地域や年代、個々人の課題に対しての価値感も多様です。1つでも多くのコメントをいただきましょう。</p>	<p>今後も速やかな情報提供に努めます。</p>	無	